

日本善行協会から「善行賞」を十一月十七日に東京の明治記念館で授与されることになった。「花の会」の小口陽子さんにお話を伺ってきました。

「花の会」は、今年で創立9周年となります。長峰公園が四季の花で彩られるまでの歴史は、花の会の歩んできた歴史になります。

当時の花の会の会員は、小口さんと数名の会員で、まず自分たちの家の周りをきれいに

し花を植えることから始めたそうです。次に、矢板駅西口の花壇の花植えを矢板高校から引継ぎ行いました。

7年前に長峰公園の花苗植え付けを、矢板市にお願いして、トイレの横の花壇づくりから始まりました。

それまでの長峰公園は、花のない公園だったそうですが、花壇の実績が認められ、メイン通路の両サイドへ花植え付けも行えるようになりま

す。今後も実施する公民館を増やしていく予定ですが、その担い手のはつらつ高齢課の植木さんに現状と今後をお聞きしてきました。

『自治公民館で健康体操のお手伝いしているのが、「シルバーサポーター」で、今年の初めに、4回コースの研修を行い、その後毎月1回のフォロー研修を行っています。15名の受講者がほとんど継続して研修に参加して

矢板を花いっぱいのもちこ!

植えられている花の苗はすべて花の会の資金で調達され、花の会の手によって植えられています。花壇の除草や管理も花の会で行っています。芝桜のグラウンド斜面への植え付けは、矢板市で行っていますが、当初は芝生の計画でした。花の会の熱心な要望で芝桜になり、春の花の時期の写真は記念切手になったほどです。

花の会の会員は、50名近くになっていきます。花の会が着実に実績を上げているのは、7班からなる班体制と会のモットー「資金は、すべて会で」、「できる人が、できる時、できる場所」によつてい



グーパー体操で元気はつらつ

「シルバーサポーター」の手ですべて運営しているようにすること、開催する自治公民館の数を徐々に増やして、矢板市のすべての自治公民館をお年寄りの方の健康情報の拠点にしてゆきたいと思つていきます。また、健康体操に出てこられないお年寄りの情報を、出てくる方々から聞いて個別訪問などの手段によつてサポートでき



回からは、実際に活躍しているシルバーサポーターをご紹介します。

(カメの搜索願いが、出されています)

矢板五区内にあるゴミ収集場に「カメの搜索願い」が掲示されています。

このカメは、十数年前に子供の誕生祝いで、買ったつがいミドリカメの内のメス亀。産卵期をむかえたので、産卵場所を求めて、近所の公園に行つたのですが、気に入らなかつたらしく、その後、ビニールのひもを甲羅に結び、自宅の庭を仕切り、自由にさせていましたが、いつの間にか居なくなりしました。このメス亀は数年前にも約半年間家出した前歴があり、また、オス亀の方も今年の春に家出し、約一ヶ月後近所で保護されたことがある問題の亀夫婦だとか。



熱闘! やいた球友チーム・悲願の全国大会初出場



シニアの甲子園といわれている、全日本シニア軟式野球選手権大会(50歳以上)。第7回目になる今年も岡山県倉敷市のマスカットスタジアムで開催され、本

上がったフライをショートが後ろに倒れながらのフア

市のおやいた球友チームム(代表・村上五十六さん監督・小滝章一さん)が悲願の初出場を果たしました。選手の皆様を代表し、やいた球友チーム設立当時のキャプテンを務めた古河原弘弘さんにお話を伺いました。

高原に活性化の風を吹かせよう! 第2回 高原山麓サミット開催!

矢板の自慢ナンパーワの高原山を中心とした自然。「高原山麓に暮らす私たち自身が、魅力的な地元づくりを考えるきっかけになれば」と、高原山麓活性化委員会(津久井良江会長)では、昨年に続き第2回目の高原山麓サミットを企画しました。

ごや後ヨックな日シな心配。1日にイデザの1月15日発行です。2ヶ月に1度の発行予定日がお正月前です。2ヶ月に1度の発行予定日がお正月前です。2ヶ月に1度の発行予定日がお正月前です。2ヶ月に1度の発行予定日がお正月前です。

編集後記

2ヶ月に1度の発行予定日がお正月前です。2ヶ月に1度の発行予定日がお正月前です。2ヶ月に1度の発行予定日がお正月前です。2ヶ月に1度の発行予定日がお正月前です。